

Aoshima Hiroshi 青島 広志 先生 公開講座

2019年

7月5日(金)

12:40~14:10

川越キャンパス

スタジオB

専門以外に、できた方がいいこと!!

~お客様に喜んでいただける楽しい演奏会にするために心がけておきたいこと~

- 1.喋れたほうがいいかも!!
- 2.ピアノを弾けたほうがいいかも!!
- 3.絵を描けたほうがいいかも!!
- 4.歌えたほうがいいかも!!
- 5.踊れたほうがいいかも!!

青島 広志 先生

1955年東京生まれ。東京藝術大学および大学院修士課程を首席で修了し、修了作品のオペラ「黄金の国」(原作:遠藤周作)が同大図書館に購入され、過去2回の東京都芸術フェスティバル主催公演となる。作曲家としては「火の鳥」(原作:手塚治虫)、「黒蜥蜴」(原作:三島由紀夫)、管弦楽曲「その後のピーターと狼」、合唱曲「マザーグースの歌」、ミュージカル「11ぴきのネコ」など、その作品は200曲を超え。ピアニスト・指揮者としての活動も40年を超え、最近ではコンサートやイベントのプロデュースも数多くこなしている。NHK「ゆかいなコンサート」の初代監督を8年務め、現在もNHKラジオ「みんなのコーラス」「高校音楽講座」にレギュラー出演のほか、テレビ朝日「題名のない音楽会」、日本テレビ「世界一受けたい授業」、テレビ東京「たけしの誰でもピカソ」、TBSラジオ「子ども電話相談室」にも出演。著書に『モーツァルトに会いたくて』『青島広志でございます!』『あなたも弾ける!ピアノ曲ガイド』(学研プラス)、『やさしくわかる楽典』(日本実業出版社)、『作曲ノススメ』(音楽之友社)、『21世紀子どもクラシック』(全5巻・小学館)、『音楽家ってフシギ』(東京書籍)、『オペラ作曲家によるヘンなオペラ超入門』『作曲家の発想術』(ともに講談社)などがある。東京藝術大学、洗足学園音楽大学客員教授、日本現代音楽協会、作曲家協議会、東京室内歌劇場会員。

テノール 小野 勉

都立八潮高卒。高一の冬、とても素敵な先輩に誘われて、うっかり入ってしまった合唱部。これがきっかけとなり、音楽の道を進むこととなる。フォンテックにてレコード、CD制作に携わる。偶然にも青島広志氏に見出され、演奏活動を始める。「黄金の国」(遠藤周作)でオペラデビュー。2001年第12回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第3位入賞。その後テノール歌手に転職。NHK「高校講座音楽I」、フジTV「アウトドックス」等に出演。青島氏プロデュースの舞台に多数出演。「ペールギュントの大冒険」「幸福な王子」「大好き!ドラキュラ君」等がある。また、オーケストラとの共演も多く、東京ニューシティ、アンサンブル金沢、大阪交響楽団、名古屋フィル、中部フィル、東京フィルほかと共演。童謡からオペリアリアまで幅広いレパートリーを持ち、様々な場所にその歌声を提供している。

《備考》 ○公開講座の聴講はヒューマンコミュニケーションの1ポイントとなります。

○公開講座を聴講するため、重複するレッスン及び授業については公欠扱いとなります。

※公欠対象：大学生→3時限目 大学生(PACS)→2時限目

短大生→11:10~16:50の時間帯に該当する授業及びレッスン

○公開講座中の入退場は、原則としてできません。(遅刻厳禁)

令和元年6月11日 東邦音楽大学・東邦音楽短期大学 教務学生担当